

1. 京都府内市区町村における合計特殊出生率と社会指標との関係

(1) 各市区町村における合計特殊出生率

京都府内 36 市区町村における 2008 年～2012 年の合計特殊出生率（ベイズ推定値）をみると（次ページ・図表 IV-1-1-1①）、福知山市が 1.96 で最も高く、京都市東山区が 0.77 で最も低い。京都市全体では 1.16 であり、市町村単位で比較すると南山城村が 1.05 で最も低くなっている。なお、京都府全体の 2013 年合計特殊出生率は 1.26、全国平均 1.43 である。

2003 年～2007 年における合計特殊出生率（ベイズ推定値）をみると（次ページ・図表 IV-1-1-1②）、福知山市（1.80）が最も高く、京都市東山区（0.75）が最も低いという順位は変わっていない。市町村単位で比較すると、京都市が 1.10 で最下位であった。

2003 年～2007 年と 2008 年～2012 年の合計特殊出生率から増減率をみると（次ページ・図表 IV-1-1-1③）、36 市区町村中、28 市区町村で増加している。最も大きく上昇したのは木津川市で、1.158 倍（1.33→1.54）となり、合計特殊出生率順位も 11 位から 7 位に上がった。井手町では、2003 年～2007 年と 2008 年～2012 年の合計特殊出生率の変化は見られない。

一方、その他の 7 市区町村（京都市下京区、宮津市、京丹後市、笠置町、精華町、南山城村、与謝野町）では、合計特殊出生率が下がっている。最も大きく下がったのは南山城村で、0.897 倍（1.17→1.05）となり、合計特殊出生率の順位も 26 位から 32 位に下がっている。

京都市全体でみると、2003 年～2007 年から 2008 年～2012 年の合計特殊出生率は 1.055 倍と微増（1.10→1.16）し、南山城村（1.05）、笠置町（1.09）を上回った。

5 歳以下の子どもの人口比率をみると（次ページ・図表 IV-1-1-1④）、合計特殊出生率が最も大きく増加した木津川市で、7.1%と最も高い。最も低いのは笠置町（2008 年～2012 年の合計特殊出生率 30 位）で 1.8%である。

京都市内の各区の 2008 年～2012 年合計特殊出生率は、36 市区町村中中位から下位を占めているが、南区は 11 位と比較的高い。また、下京区を除いていずれの区も出生率が上昇している。

中丹地域は、3 市とも 2008 年～2012 年合計特殊出生率が比較的高く、また、いずれの市も出生率が上昇している。一方、相楽東部の 3 町は 2008 年～2012 年合計特殊出生率、増減率が下位に位置し、増減率では南山城村がワースト 1 位となっている。

図表 IV-1-1-1 京都府内市区町村の合計特殊出生率・増減率・5歳以下人口比率

	市区町村	①合計特殊出生率 (2008年～2012年 ベイズ推定値)	順位	②合計特殊出生率 (2003年～2007年 ベイズ推定値)	順位	③出生率 増減率	順位	④5歳以下 人口比率	順位
京都市	京都市	1.16		1.10		1.055		4.5%	
	北区	1.09	30	1.04	31	1.048	18	3.9%	27
	上京区	0.93	34	0.84	35	1.107	5	3.6%	30
	左京区	1.10	29	1.00	32	1.100	7	4.0%	25
	中京区	0.96	33	0.85	34	1.129	3	3.8%	29
	東山区	0.77	36	0.75	36	1.027	26	2.6%	32
	下京区	0.91	35	0.97	33	0.938	35	4.0%	24
	南区	1.38	11	1.33	11	1.038	24	5.1%	13
	右京区	1.21	27	1.16	27	1.043	21	4.7%	18
	伏見区	1.32	23	1.25	22	1.056	16	5.0%	15
	山科区	1.28	25	1.20	25	1.067	14	4.7%	16
	西京区	1.33	20	1.27	17	1.047	19	5.3%	12
丹後	宮津市	1.65	5	1.70	5	0.971	33	4.0%	26
	京丹後市	1.73	3	1.77	2	0.977	32	4.5%	21
	伊根町	1.51	8	1.36	9	1.110	4	2.4%	34
	与謝野町	1.71	4	1.72	3	0.994	30	4.6%	19
中丹	福知山市	1.96	1	1.80	1	1.089	10	5.5%	7
	舞鶴市	1.87	2	1.72	3	1.087	11	5.3%	10
	綾部市	1.63	6	1.49	6	1.094	9	4.3%	23
南丹	亀岡市	1.32	23	1.27	17	1.039	23	5.0%	14
	南丹市	1.38	11	1.25	22	1.104	6	3.9%	28
	京丹波町	1.40	10	1.36	9	1.029	25	3.3%	31
乙訓	向日市	1.37	15	1.31	15	1.046	20	5.7%	4
	長岡京市	1.38	11	1.27	17	1.087	12	5.5%	6
	大山崎町	1.38	11	1.27	17	1.087	12	6.0%	3
学研都市	京田辺市	1.35	18	1.23	24	1.098	8	5.6%	5
	木津川市	1.54	7	1.33	11	1.158	1	7.1%	1
	精華町	1.33	20	1.38	8	0.964	34	6.2%	2
相楽東部	笠置町	1.09	30	1.11	29	0.982	31	1.8%	36
	和束町	1.18	28	1.16	27	1.017	28	2.6%	33
	南山城村	1.05	32	1.17	26	0.897	36	2.3%	35
山城北	宇治市	1.35	18	1.27	17	1.063	15	5.4%	8
	城陽市	1.27	26	1.11	29	1.144	2	4.7%	17
	八幡市	1.37	15	1.30	16	1.054	17	5.4%	9
	久御山町	1.47	9	1.41	7	1.043	22	5.3%	11
	井手町	1.33	20	1.33	11	1.000	29	4.4%	22
	宇治田原町	1.36	17	1.33	11	1.023	27	4.5%	20

合計特殊出生率（2008年～2012年ベイズ推定値）

【平成20年～平成24年人口動態保健所・市町村別統計（厚生労働省）】

合計特殊出生率（2003年～2007年ベイズ推定値）

【平成15年～平成19年人口動態保健所・市町村別統計（厚生労働省）】

出生率増減率【上記の2003年～2007年、2008年～2012年合計特殊出生率（ベイズ推定値）から増減率を算出】

5歳以下人口比率（2010年）【国勢調査（総務省統計局）より算出】

2008 年～2012 年の女性年齢階級別出生率（ベイズ推定値）をみると（図表 IV-1-1-2）、20～24 歳、25～29 歳、30～34 歳までの年齢階級で、合計特殊出生率が最も高い福知山市の出生率が府内 36 市区町村の中で最も高い。

一方、合計特殊出生率の最も低い京都市東山区は、25～29 歳、30～34 歳の出生率が最も低く、20～24 歳、35～39 歳の出生率もそれぞれワースト 2 位（35 位）となっている。20～24 歳の出生率が最も低いのは、京都市上京区の 5.6 であり、1 位の福知山市（78.6）との差が大きい。

35～39 歳、40～44 歳の出生率をみると、合計特殊出生率 29 位の京都市左京区が、1 位である。35～39 歳の出生率ワースト 1 位は八幡市（合計特殊出生率 15 位）、40～44 歳の出生率ワースト 1 位は京丹後市（合計特殊出生率 3 位）である。

各市区町村において、どの年齢階級での出生率が最も高くなっているかをみると、25～29 歳で最も高くなっている 7 市町（福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、京丹波町、与謝野町）と、30～34 歳で最も高くなっている 29 市区町に二分される。25～29 歳で最も高くなっている 7 市町は、すべて合計特殊出生率で上位 10 位以内に入っている。

合計特殊出生率が最も上昇し、5 歳以下人口比率で 1 位の木津川市をみると、年齢階級別出生率は 30～34 歳で最も高くなっており、36 市区町村中 3 位である。また、35～39 歳の出生率も市区町村中 2 位であり、30 代の出生率が相対的に高い。

一方、合計特殊出生率が最も大きく低下した南山城村は、25～29 歳と 30～34 歳の出生率が、それぞれ 32 位、31 位と相対的に低い。

図表 IV-1-1-2 京都府内市区町村の女性年齢階級別出生率（女性人口千対、ベイズ推定値）

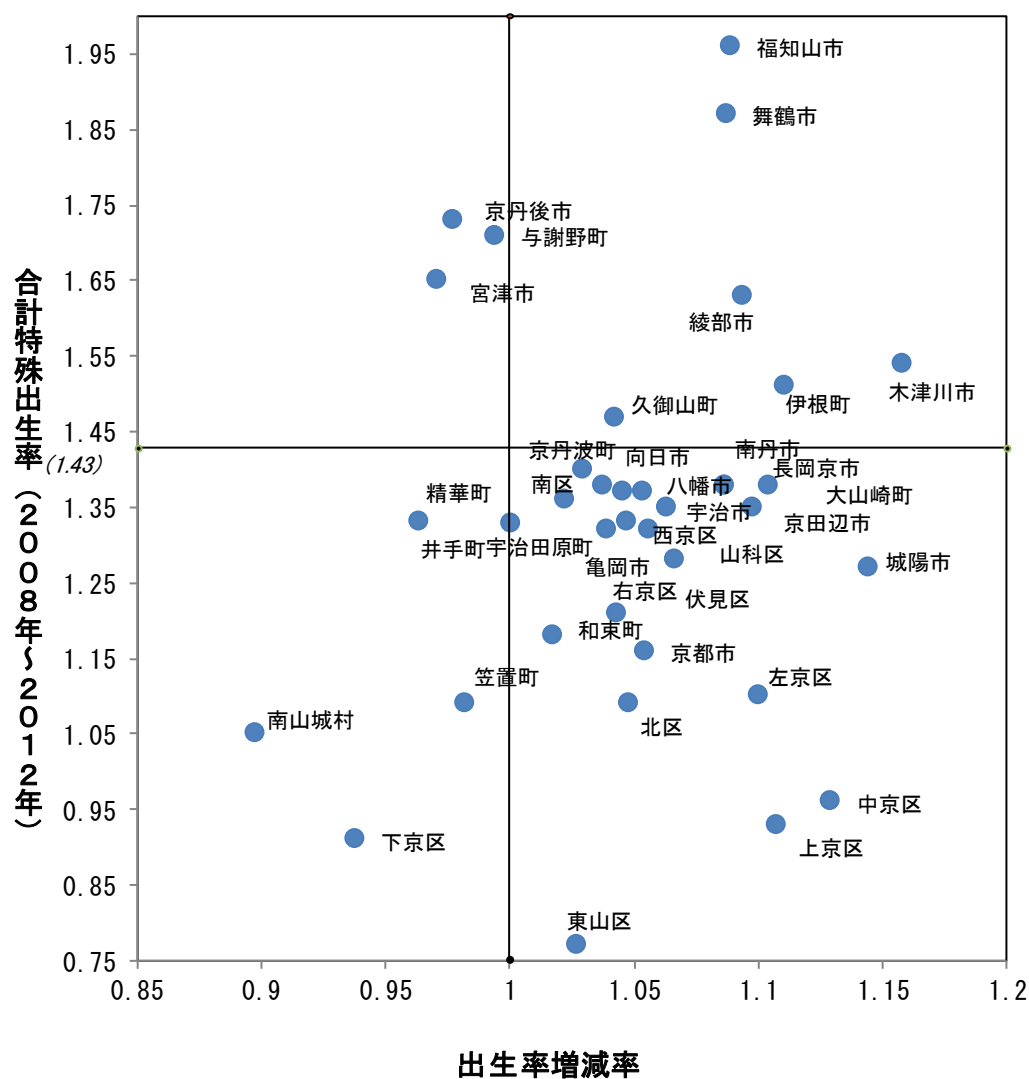
	市区町村	20-24歳	順位	25-29歳	順位	30-34歳	順位	35-39歳	順位	40-44歳	順位
京都市	京都市	18.7		66.3		87.3		46.2		8.8	
	北区	10.2	31	61.0	30	88.3	26	47.5	13	8.3	20
	上京区	5.6	36	45.0	34	80.6	30	45.2	18	8.7	14
	左京区	8.9	33	55.1	31	92.6	23	51.4	1	10.7	1
	中京区	10.2	31	46.3	33	76.2	33	48.7	6	9.3	6
	東山区	7.0	35	32.2	36	62.2	36	41.4	35	8.6	15
	下京区	12.6	30	43.3	35	69.6	35	44.5	25	9.5	4
	南区	32.8	15	82.7	20	97.4	15	48.5	7	8.3	20
	右京区	18.8	28	71.5	27	93.8	18	45.0	23	8.2	24
	伏見区	35.6	13	82.7	20	87.7	27	43.2	30	8.3	20
	山科区	27.7	22	81.9	22	88.8	25	42.9	31	8.8	12
	西京区	26.0	23	80.8	23	97.7	14	49.3	3	7.9	29
丹後	宮津市	52.4	7	113.1	3	104.7	9	47.7	11	7.9	29
	京丹後市	69.8	2	111.8	5	109.1	4	45.2	18	7.1	36
	伊根町	58.0	5	92.9	8	93.2	21	46.2	16	8.6	15
	与謝野町	68.1	4	112.9	4	104.1	11	44.1	27	7.9	29
中丹	福知山市	78.6	1	131.0	1	118.1	1	47.7	11	9.0	10
	舞鶴市	69.1	3	125.4	2	114.4	2	48.1	8	8.8	12
	綾部市	53.4	6	111.7	6	104.2	10	44.0	28	7.7	33
南丹	亀岡市	28.0	21	83.1	19	93.8	18	45.1	20	8.9	11
	南丹市	31.8	18	90.0	10	95.4	17	47.8	10	8.3	20
	京丹波町	50.4	9	92.3	9	83.9	29	41.7	34	7.4	35
乙訓	向日市	31.9	16	79.5	24	101.8	12	47.4	14	9.6	2
	長岡京市	20.8	26	84.3	15	109.1	4	49.1	4	9.2	7
	大山崎町	20.9	25	89.0	11	108.0	7	45.9	17	8.1	28
学研都市	京田辺市	14.8	29	85.5	13	108.4	6	49.0	5	9.6	2
	木津川市	33.3	14	98.3	7	113.9	3	50.5	2	8.2	24
	精華町	20.4	27	77.1	26	106.8	8	48.1	8	9.1	9
相楽東部	笠置町	7.8	34	62.9	29	88.9	24	45.1	20	9.2	7
	和束町	41.9	11	63.8	28	72.7	34	43.6	29	8.6	15
	南山城村	23.8	24	49.7	32	80.1	31	44.2	26	8.6	15
山城北	宇治市	28.2	20	84.6	14	99.3	13	45.1	20	8.2	24
	城陽市	29.7	19	83.6	18	85.5	28	42.3	33	8.2	24
	八幡市	40.7	12	84.3	15	93.1	22	40.1	36	7.7	33
	久御山町	51.4	8	87.0	12	93.6	20	42.7	32	9.4	5
	井手町	45.5	10	79.3	25	79.5	32	44.6	24	8.4	19
	宇治田原町	31.9	16	84.0	17	96.5	16	46.5	15	7.8	32

【平成20年～平成24年人口動態保健所・市町村別統計（厚生労働省）】

（２）各市区町村における合計特殊出生率と増減率の関係

2008 年～2012 年の合計特殊出生率と 2003 年～2007 年から 2008 年～2012 年の合計特殊出生率の増減率の関係をみると（図表 IV-1-2-1）、有意な相関はない。合計特殊出生率が上昇している市区町村が、必ずしも現在合計特殊出生率が上位の市区町村と言うわけではない。

図表 IV-1-2-1 合計特殊出生率と増減率



合計特殊出生率（2008 年～2012 年ベイズ推定値）【平成 20 年～平成 24 年人口動態保健所・市町村別統計（厚生労働省）】
 合計特殊出生率（2003 年～2007 年ベイズ推定値）【平成 15 年～平成 19 年人口動態保健所・市町村別統計（厚生労働省）】
 出生率増減率【上記の 2003 年～2007 年、2008 年～2012 年合計特殊出生率（ベイズ推定値）から増減率を算出】

（３）結婚・出産・社会移動

府内の市区町村について、少子化の要因を考えるにあたり、結婚・出産・社会移動の現状をみる（次ページ・図表 IV-1-3-1）。

結婚については 15～49 歳女性の 2010 年「有配偶率（現在結婚している女性の割合）」（「国勢調査」総務省統計局）を指標として使用した。出産については、市区町村のような狭い範囲の地域で出生数等が少ない場合、偶然変動で数値が大幅に上下することから、「有配偶出生率（現在結婚している 15～49 歳女性人口千人に対するその年の出生数）」を指標として利用することが難しい。おおむね、有配偶率×有配偶出生率＝出生率といえることから、出産の指標としては、「2008 年～2012 年の合計特殊出生率」で代用し、2010 年「有配偶率」の関係から把握を試みる。

社会移動については、2010 年社会増減率〔（転入者数－転出者数）／人口総数〕（「統計でみる都道府県・市区町村のすがた」（総務省統計局））を指標として使用した（ここでの転入・転出者数は「住民基本台帳移動人口報告」である）。

結婚について「有配偶率」は、2010 年の全国平均が 50.1％であった。府内の市区町村で全国平均レベルの 5 割以上なのは 17 市町で、丹後地域の宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町、中丹地域の福知山市、舞鶴市、綾部市、南丹地域の亀岡市、京丹波町、乙訓地域の向日市、長岡京市、大山崎町、学研都市地域の木津川市、精華町、山城北地域の宇治市、八幡市、宇治田原町である。

「2008 年～2012 年の合計特殊出生率」が 2010 年の全国平均 1.39 を上回っているのは、府内の 10 市町村で、丹後地域の宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町、中丹地域の福知山市、舞鶴市、綾部市、南丹地域の京丹波町、学研都市地域の木津川市、山城北地域の久御山町である。

社会移動について、社会増減率がプラス（転出者より転入者が多い）のは府内 8 市区町であり、京都市の上京区、中京区、下京区、右京区、中丹地域の福知山市、学研都市地域の京田辺市、木津川市、精華町である。

図表 IV-1-3-1 合計特殊出生率、有配偶率、社会移動率

	市区町村	合計特殊出生率 (2008～2012年 ベイズ推定値)	順位	有配偶率 (2010年)	順位	社会移動率 (2010年)	順位
京都市	京都市	1.16		41.7		-0.03	
	北区	1.09	30	40.8	30	-0.15	17
	上京区	0.93	34	33.2	35	0.18	6
	左京区	1.10	29	39.3	31	-0.01	11
	中京区	0.96	33	37.7	32	0.64	5
	東山区	0.77	36	24.8	36	-0.41	24
	下京区	0.91	35	34.5	34	0.99	2
	南区	1.38	11	44.9	25	-0.33	22
	右京区	1.21	27	44.2	27	0.04	7
	伏見区	1.32	23	44.9	25	0.06	12
	山科区	1.28	25	43.7	28	-0.18	18
	西京区	1.33	20	48.6	19	-0.66	30
丹後	宮津市	1.65	5	54.2	8	-0.30	21
	京丹後市	1.73	3	57.8	2	-0.56	28
	伊根町	1.51	8	52.3	13	0.00	9
	与謝野町	1.71	4	55.3	6	-0.57	29
中丹	福知山市	1.96	1	58.4	1	0.03	8
	舞鶴市	1.87	2	56.3	5	-0.68	32
	綾部市	1.63	6	55.0	7	-0.40	23
南丹	亀岡市	1.32	23	50.0	17	-0.42	26
	南丹市	1.38	11	45.7	23	-0.07	13
	京丹波町	1.40	10	51.7	14	-0.93	35
乙訓	向日市	1.37	15	53.0	11	-0.47	27
	長岡京市	1.38	11	53.2	10	-0.07	13
	大山崎町	1.38	11	52.7	12	-0.24	19
宇治市	京田辺市	1.35	18	48.4	20	0.74	3
	木津川市	1.54	7	56.8	4	1.14	1
	精華町	1.33	20	57.5	3	0.65	4
相楽東部	笠置町	1.09	30	35.5	33	-1.41	36
	和束町	1.18	28	43.1	29	0.00	9
	南山城村	1.05	32	47.8	22	-0.29	20
山城北	宇治市	1.35	18	50.6	16	-0.10	15
	城陽市	1.27	26	47.9	21	-0.41	24
	八幡市	1.37	15	50.8	15	-0.12	16
	久御山町	1.47	9	49.1	18	-0.90	34
	井手町	1.33	20	45.6	24	-0.79	33
	宇治田原町	1.36	17	54.0	9	-0.66	30

合計特殊出生率（2008年～2012年ベイズ推定値）

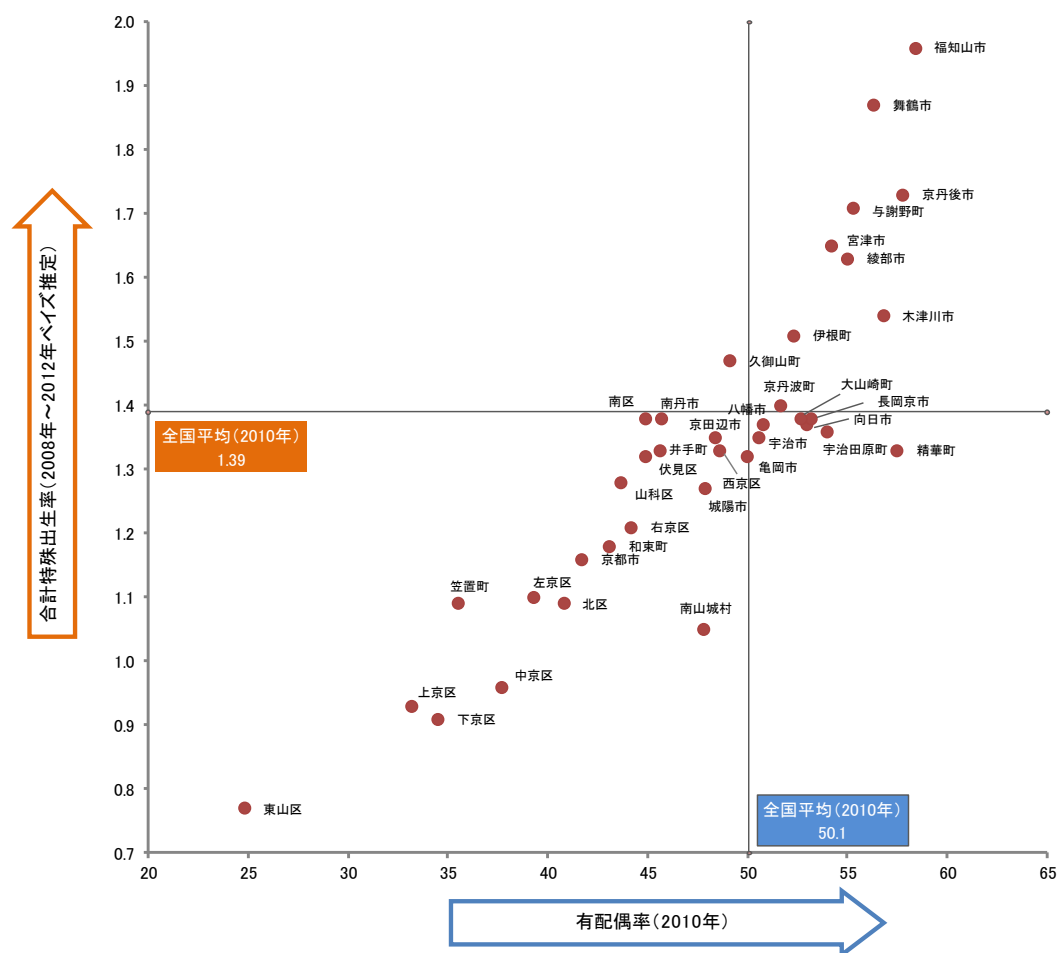
【平成20年～平成24年人口動態保健所・市町村別統計（厚生労働省）】

有配偶率（2010年）【国勢調査（総務省統計局）より算出】

社会移動率（2010年）【統計でみる都道府県・市区町村のすがた（総務省統計局）】

「合計特殊出生率」と「有配偶率」の関係をみると（図表 IV-1-3-2）、下記の通りである。全国平均と比べると、京都府は「合計特殊出生率」と「有配偶率」の両方が平均より上の市区町村が 9、両方が平均より下の市区町村が 18 であり、府内でも差が大きい。

図表 IV-1-3-2 合計特殊出生率と有配偶率



合計特殊出生率（2008 年～2012 年ベイズ推定値）【平成 20 年～平成 24 年人口動態保健所・市町村別統計（厚生労働省）】
有配偶率（2010 年）【国勢調査（総務省統計局）より算出】

結婚・出産・社会移動の市区町村の状況は、下記のように整理できる。

	社会移動率プラス ⇨転入が多い	社会移動率0もしくはマイナス ⇨転出が多い ⇒定住の促進が重要
合計特殊出生率・有配偶率ともに全国平均以上 ⇨結婚・出産ともに高めの水準↑	2市 中丹：福知山市 学研都市：木津川市	7市町 丹後：宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町 中丹：舞鶴市、綾部市 南丹：京丹波町
合計特殊出生率：全国平均以下 有配偶率：全国平均以上 ⇨結婚は高め↑・出産は低め↓ ⇒出産・子育て環境の充実が重要	1町 学研都市：精華町	7市町 南丹：亀岡市 乙訓：向日市、長岡京市、大山崎町 山城北：宇治市、八幡市、宇治田原町
合計特殊出生率：全国平均以上 有配偶率：全国平均以下 ⇨結婚は低め↓・出産は高め↑ ⇒希望者が結婚しやすい環境整備が重要	該当なし	1町 山城北：久御山町
合計特殊出生率：全国平均以下 有配偶率：全国平均以下 ⇨結婚・出産ともに低めの水準↓↓ ⇒希望者が結婚しやすい環境整備、 出産・子育て環境の充実が重要	5市区 京都市：上京区、中京区、 下京区、右京区 学研都市：京田辺市	13市区町村 京都市：北区、左京区、東山区、南区、 伏見区、山科区、西京区 南丹：南丹市 相楽東部：笠置町、和束町、南山城村 山城北：城陽市、井手町

（４）合計特殊出生率と社会指標の関係

京都府内の市区町村の地域差を比較するため、合計特殊出生率と相関があると考えられる「人口・世帯・居住環境」「学習環境」「就労環境」「保育環境」「地域」「出産・結婚」に関する社会指標の府内市区町村データを収集し、府内市区町村の 2008～2012 年「合計特殊出生率」との相関係数、各市区町村の数値と順位をみた。

また、京都府内で最も合計特殊出生率が高い福知山市と、南丹地域以南の農村部で最も合計特殊出生率が高い町である京丹波町に注目し、それぞれの特徴をみた。

① 人口・世帯・居住環境

人口・世帯・居住環境に関する社会指標をみると（151～155 ページ・図表 IV-1-4-1-1～IV-1-4-1-5）、「合計特殊出生率」と「18 歳以下人口比率」「25～29 歳転入超過数」「30～34 歳転入超過数」は弱い正の相関が、「人口密度」「他市区町村からの通勤者比率」「他市区町村への通勤者比率」「20～24 歳転入超過数」は弱い負の相関がある。

すなわち 18 歳以下の人口比率が高い、また、20 代後半から 30 代前半の転入者が多い市区町村は、合計特殊出生率が高い傾向がある。一方、人口密度が高く、他市区町村からの通勤者や他市区町村への通勤者が多く、20 代前半の転入者が多い市区町村は、合計特殊出生率が低い傾向がある。なお、ここでの転入・転出は、5 年前の居住地からの移動したか否かを示し、20 代前半での移動には 10 代後半の大学入学期での転入が含まれており、合計特殊出生率が低い京都市内に 20 代前半での転入が多いため、合計特殊出生率との因果関係はないと考えられる。

「人口」「世帯数」「三世帯同居割合」「65 歳以上の世帯員がいる世帯割合」「人口千人当たりの公営公団住宅の入居者数」は、合計特殊出生率と有意な相関はみられない。

福知山市は人口約 8 万人（府内 15 位）、京丹波町は人口約 1.6 万人（29 位）である。福知山市の人口密度は 144.1 人（27 位）、京丹波町は 51.9 人（34 位）で、いずれも府内では人口密度が低いといえる。18 歳以下の人口比率は福知山市で 11 位（18.2%）、京丹波町が府内 26 位（15.3%）である。学研都市地域である精華町、木津川市、京田辺市は、上位 3 位を占める。

図表 IV-1-4-1-1 合計特殊出生率と人口・世帯・居住環境に関する社会指標（1）

	人口	順位	世帯数	順位	人口密度	順位	18歳以下人口 比率	順位
相関係数	-0.1309		-0.2196		-0.5439**		0.6123**	
京都市	京都市	1,474,015		681,581	1780.4		15.1%	
	北区	122,037	7	56,406	1,285.7	17	15.0%	27
	上京区	83,264	12	43,389	11,710.8	2	12.5%	30
	左京区	168,802	4	82,067	683.7	21	13.8%	28
	中京区	105,306	8	55,772	14,269.1	1	12.7%	29
	東山区	40,528	22	21,114	5,432.7	6	10.2%	36
	下京区	79,287	16	43,651	11,625.7	3	11.8%	33
	南区	98,744	9	45,036	6,257.5	5	15.6%	24
	右京区	202,943	2	90,808	695.1	20	15.7%	23
	伏見区	284,085	1	123,597	4,610.3	8	16.7%	17
丹後	山科区	136,045	6	58,321	4,727.1	7	15.8%	22
	西京区	152,974	5	61,420	2,584.0	12	18.2%	10
	宮津市	19,948	27	8,180	117.8	28	15.4%	25
	京丹後市	59,038	20	20,690	117.6	29	17.8%	14
中丹	伊根町	2,410	35	939	38.9	36	12.3%	31
	与謝野町	23,454	26	8,347	219.1	25	18.4%	5
	福知山市	79,652	15	30,890	144.1	27	18.2%	11
南丹	舞鶴市	88,669	11	35,504	259.0	24	18.3%	7
	綾部市	35,836	23	14,006	103.2	30	16.0%	20
	亀岡市	92,399	10	33,625	410.8	23	18.3%	6
乙訓	南丹市	35,214	25	12,721	57.1	33	15.9%	21
	京丹波町	15,732	29	5,660	51.9	34	15.3%	26
	向日市	54,328	21	21,282	7,083.2	4	18.3%	9
学研都市	長岡京市	79,844	14	31,514	4,162.9	9	17.5%	15
	大山崎町	15,121	30	5,750	2,532.8	13	17.9%	13
	京田辺市	67,910	19	27,839	1,581.5	15	20.7%	3
相楽東部	木津川市	69,761	18	24,393	819.6	19	20.8%	2
	精華町	35,630	24	12,117	1,388.5	16	22.6%	1
	笠置町	1,626	36	631	69.0	32	10.6%	35
山城北	和束町	4,482	33	1,509	69.1	31	12.2%	32
	南山城村	3,078	34	1,128	47.9	35	11.3%	34
	宇治市	189,609	3	72,907	2,806.9	11	18.3%	8
	城陽市	80,037	13	29,972	2,444.6	14	16.3%	18
	八幡市	74,227	17	28,795	3,045.8	10	17.4%	16
	久御山町	15,914	28	5,870	1,148.2	18	17.9%	12
	井手町	8,447	32	3,110	468.8	22	16.0%	19
	宇治田原町	9,711	31	3,097	166.7	26	19.5%	4

人口・世帯数（総世帯数）・人口密度（2010年）【国勢調査（総務省統計局）】

18歳以下人口比率（2010年）【国勢調査（総務省統計局）より算出】

**相関係数は1%水準で有意（両側） *相関係数は5%水準で有意（両側）

図表中濃色のバー：1%・5%水準で有意（両側）

三世帯同居割合をみると（図表 IV-1-4-1-2）、福知山市は 14 位（8.4%）、京丹波町は 6 位（15.1%）であり、いずれも府内では比較的高い。三世帯同居割合が高いのは相楽東部の和束町（19.5%）、南山城村（17.9%）、山城北の宇治田原町（16.4%）、丹後の伊根町（16.3%）、京丹後市（15.7%）などである。

65 歳以上の世帯員がいる世帯割合をみると、福知山市は 13 位（43.7%）、京丹波町が 5 位（63.1%）である。三世帯同居割合の高い市区町村で、65 歳以上の世帯員がいる世帯割合も高い傾向がある。

図表 IV-1-4-1-2 合計特殊出生率と人口・世帯に関する社会指標（2）

		三世帯同居 割合	順位	65歳以上の 世帯員がいる 世帯割合	順位
	相関係数	0.2692		0.2809	
京都市	京都市	3.7%		33.0%	
	北区	4.0%	26	34.1%	27
	上京区	3.7%	31	32.8%	32
	左京区	3.6%	33	31.0%	33
	中京区	3.0%	35	29.1%	35
	東山区	3.5%	34	40.2%	18
	下京区	2.9%	36	28.0%	36
	南区	3.6%	32	33.1%	30
	右京区	3.9%	27	34.2%	26
	伏見区	3.8%	30	33.6%	28
	山科区	3.8%	28	35.6%	23
	西京区	4.3%	24	33.4%	29
丹後	宮津市	8.5%	13	56.1%	7
	京丹後市	15.7%	5	57.7%	6
	伊根町	16.3%	4	73.7%	1
	与謝野町	14.0%	7	55.9%	8
中丹	福知山市	8.4%	14	43.7%	13
	舞鶴市	6.5%	18	43.4%	14
	綾部市	9.6%	11	54.5%	9
南丹	亀岡市	8.4%	15	37.4%	20
	南丹市	13.1%	9	50.0%	10
	京丹波町	15.1%	6	63.1%	5
乙訓	向日市	3.8%	29	36.9%	22
	長岡京市	4.1%	25	34.8%	24
	大山崎町	5.1%	21	41.9%	16
学研都市	京田辺市	5.5%	20	29.6%	34
	木津川市	7.5%	17	34.6%	25
	精華町	7.6%	16	33.0%	31
相楽東部	笠置町	13.8%	8	65.6%	2
	和束町	19.5%	1	63.8%	4
	南山城村	17.9%	2	64.9%	3
山城北	宇治市	4.4%	23	36.9%	21
	城陽市	6.1%	19	41.9%	15
	八幡市	4.8%	22	37.5%	19
	久御山町	9.3%	12	40.6%	17
	井手町	9.6%	10	47.5%	11
	宇治田原町	16.4%	3	46.4%	12

三世帯同居割合（2010 年）【国勢調査（総務省統計局）より三世帯同居世帯数を一般世帯数で除して算出】

65 歳以上の世帯員がいる世帯割合（2010 年）【国勢調査（総務省統計局）より

65 歳以上の世帯員がいる世帯一般世帯数で除して算出】

**相関係数は 1%水準で有意（両側） *相関係数は 5%水準で有意（両側）

図表中濃色のバー：1%・5%水準で有意（両側）

他市区町村からの通勤者比率をみると（図表 IV-4-1-3）、福知山市は 27 位（22.1%）、京丹波町は 29 位（20.9%）であり、いずれもそれほど高くない。他市区町村への通勤者比率をみると、福知山市は 34 位（13.3%）、京丹波町は 30 位（32.0%）であり、いずれも高くない。

他市区町村からの通勤者比率が高いのは、久御山町と、京都市内の下京区、中京区、南区である。他市区町村への通勤者比率が高いのは、大山崎町、精華町、向日市でいずれも 7 割を超えている。

人口千人当たりの公営公団住宅の入居者数をみると、福知山市は府内 13 位、京丹波町は 22 位である。入居者数が多いのは、山城北地域の久御山町、八幡市、京都市伏見区である。

図表 IV-1-4-1-3 合計特殊出生率と人口・世帯・居住環境に関する社会指標（3）

	他市区町村からの 通勤者比率	順位	他市区町村へ の通勤者比率	順位	人口千人当たり の公営公団住 宅の入居者数	順位
相関係数	-0.3988*		-0.4919**		0.2463	
京都市	58.1%		46.4%		56	
北区	35.8%	14	47.2%	16	8	33
上京区	67.1%	6	47.2%	16	13	30
左京区	37.9%	11	42.2%	23	22	27
中京区	135.4%	3	45.7%	21	29	23
東山区	92.3%	5	41.4%	25	18	28
下京区	178.3%	2	42.1%	24	31	21
南区	117.4%	4	41.3%	26	44	14
右京区	32.2%	17	46.9%	18	25	24
伏見区	37.6%	12	46.2%	19	140	3
山科区	26.8%	24	47.6%	15	42	16
西京区	19.3%	30	56.3%	11	103	4
丹後						
宮津市	34.0%	16	23.0%	33	54	9
京丹後市	7.1%	36	11.1%	35	23	25
伊根町	14.6%	34	27.5%	31	38	18
与謝野町	16.3%	32	32.9%	29	68	6
中丹						
福知山市	22.1%	27	13.3%	34	44	13
舞鶴市	9.1%	35	10.1%	36	52	10
綾部市	28.5%	22	24.2%	32	50	11
南丹						
亀岡市	15.9%	33	41.0%	27	33	19
南丹市	37.1%	13	33.2%	28	23	26
京丹波町	20.9%	29	32.0%	30	29	22
乙訓						
向日市	30.2%	20	71.5%	3	31	20
長岡京市	51.2%	9	62.4%	5	6	35
大山崎町	57.7%	7	72.7%	1	8	34
学研都市						
京田辺市	46.0%	10	59.8%	6	42	15
木津川市	23.0%	26	62.8%	4	66	7
精華町	29.8%	21	71.6%	2	14	29
相楽東部						
笠置町	31.2%	19	58.2%	10	68	5
和束町	18.3%	31	43.4%	22	40	17
南山城村	21.3%	28	58.6%	9	1	36
山城北						
宇治市	27.5%	23	51.7%	13	46	12
城陽市	23.6%	25	59.2%	8	13	31
八幡市	31.6%	18	59.7%	7	143	2
久御山町	192.5%	1	45.8%	20	202	1
井手町	35.7%	15	53.5%	12	54	8
宇治田原町	56.4%	8	48.9%	14	11	32

他市区町村からの通勤者比率・他市区町村への通勤者比率（2010 年）

【統計でみる都道府県・市区町村のすがた（総務省統計局）】

人口千人当たりの公営公団住宅の入居者数（2010 年）【国勢調査（総務省統計局）より算出】

**相関係数は 1%水準で有意（両側） *相関係数は 5%水準で有意（両側）

図表中濃色のバー：1%・5%水準で有意（両側）

年代別の転入超過数をみると（図表 IV-1-4-1-4・1-4-1-5）、福知山市は 20 代前半では転入者より転出者の方が多く、転出者から転入者を引いた「転出超過数」は京丹後市に次いで多いが、20 代後半、30 代前半では逆に転入者の方が多くなり、特に 20 代後半での「転入超過数」は府内 1 位である。30 代後半以降、再び転出者の方が多くなっている。

京丹波町では 20 代では転入者より転出者の方が多いが、30 代前半から 40 代前半まで「転入超過」となっている。

京都市は 20 代前半での転入が転出よりも多く、若い世代が増えている。しかし、20 代後半から転出の方が多くなり、20 代前半での増加分が 40 代前半までに減少してしまっている。一方で、合計特殊出生率が上位の丹後・中丹の市町では、20 代前半で転出しても 20 代後半以降で転入が多くなっている。

20 代前半での転出が多いことは市町村にとって必ずしも良い事とはいえないが、20 代前半で転出があったとしても、20 代後半以降で転入する人が多い市町村の方が合計特殊出生率は高くなっている。

図表 IV-1-4-1-4 合計特殊出生率と人口・世帯・居住環境に関する社会指標（4）

		20～24歳の転 入超過数	順位	25～29歳の転 入超過数	順位	30～34歳の転 入超過数	順位
	相関係数	-0.5714**		0.4804**		0.4537**	
京都市	京都市	24,580		-14,954		-7,032	
	北区	3,156	3	-3,162	35	-683	32
	上京区	3,901	2	-1,673	33	-369	27
	左京区	6,455	1	-4,723	36	-212	35
	中京区	2,031	5	-1,069	30	-692	33
	東山区	2,202	9	-769	28	-380	29
	下京区	1,677	8	57	11	-489	31
	南区	943	11	431	2	-378	28
	右京区	2,056	4	-1,208	31	-414	30
	伏見区	2,714	7	-1,709	34	-464	36
丹後	山科区	1,091	10	-463	25	-236	25
	西京区	354	12	-666	26	-715	34
	宮津市	-319	32	80	7	-1	16
	京丹後市	-889	36	342	3	150	5
中丹	伊根町	-43	22	9	14	12	12
	与謝野町	-292	31	61	10	7	13
	福知山市	-443	35	786	1	131	6
南丹	舞鶴市	-419	34	278	5	0	15
	綾部市	-341	33	137	6	46	10
	亀岡市	-139	28	-793	29	-58	20
乙訓	南丹市	-350	13	-335	24	-85	23
	京丹波町	-200	30	-57	21	4	14
	向日市	-81	25	-83	22	110	7
学研都市	長岡京市	-159	14	295	4	413	2
	大山崎町	-45	23	39	12	51	9
	京田辺市	-727	6	-1,240	32	358	3
相楽東部	木津川市	-181	29	73	8	824	1
	精華町	-81	25	73	8	268	4
	笠置町	-19	19	-16	16	-17	17
山城北	和束町	-53	24	-48	20	-43	19
	南山城村	-40	21	-30	19	-25	18
	宇治市	58	15	-737	27	-177	24
	城陽市	-114	27	-333	23	-267	26
	八幡市	14	16	10	13	102	8
	久御山町	3	17	-6	15	-58	20
	井手町	-4	18	-28	18	-58	20
	宇治田原町	-37	20	-18	17	22	11

【2010 年国勢調査（総務省統計局）より算出】

**相関係数は 1%水準で有意（両側） *相関係数は 5%水準で有意（両側）

図表中濃色のバー：1%・5%水準で有意（両側）

図表 IV-1-4-1-5 合計特殊出生率と人口・世帯・居住環境に関する社会指標（5）

		35～39歳の転 入超過数	順位	40～44歳の転 入超過数	順位
	相関係数	0.2165		-0.0747	
京都市	京都市	-4,389		-923	
	北区	-266	30	-98	33
	上京区	-8	18	164	4
	左京区	-285	31	93	7
	中京区	-184	28	161	5
	東山区	-202	29	-9	23
	下京区	-432	34	-25	28
	南区	-410	33	-165	34
	右京区	-141	27	-86	30
	伏見区	-1,329	36	-501	36
	山科区	-289	32	-10	24
	西京区	-843	35	-447	35
丹後	宮津市	2	14	-5	19
	京丹後市	40	10	33	8
	伊根町	-3	16	1	15
	与謝野町	-12	20	-22	27
中丹	福知山市	-100	26	-93	32
	舞鶴市	-49	23	-78	29
	綾部市	41	9	-3	18
南丹	亀岡市	102	6	17	11
	南丹市	5	13	3	14
	京丹波町	8	12	19	10
乙訓	向日市	-50	24	-87	31
	長岡京市	388	3	188	3
	大山崎町	57	7	-21	26
学研都市	京田辺市	611	2	193	2
	木津川市	853	1	384	1
	精華町	218	4	131	6
相楽東部	笠置町	-8	18	-6	21
	和束町	-1	15	4	13
	南山城村	-6	17	-2	17
山城北	宇治市	164	5	14	12
	城陽市	-62	25	1	15
	八幡市	57	7	32	9
	久御山町	-12	20	-15	25
	井手町	-12	20	-6	21
	宇治田原町	38	11	-5	19

【2010年国勢調査（総務省統計局）より算出】

**相関係数は1%水準で有意（両側） *相関係数は5%水準で有意（両側）

図表中濃色のバー：1%・5%水準で有意（両側）

② 学習環境

学習環境に関する社会指標をみると（図表 IV-1-4-2-1）、「合計特殊出生率」と「専修学校（専門課程）進学率」は弱い正の相関が、「大学等進学率」「中学生に占める私立高生の割合」「高校生に占める私立高生の割合」は弱い負の相関がある。

すなわち、専修学校（専門課程）進学率が高い市区町村は、合計特殊出生率が高い傾向がある。一方、大学等進学率、中学生に占める私立高生の割合、高校生に占める私立高生の割合が高い市区町村は、合計特殊出生率が低い傾向がある。

ただし、この4指標は中学校もしくは高校の所在市区町村別の数値のため、各市区町村の居住者の率等を示す指標ではない。「-」となっている市区町村は、中学校もしくは高校が設置されていないことを示しており、市区町村ごとの合計特殊出生率との因果関係は現段階ではわからないといえる。

図表 IV-1-4-2-1 合計特殊出生率と学習環境に関する社会指標

	大学等進学率 (高等学校新規 卒業生)(%)	順位	専修学校(専門 課程)進学率 (%)	順位	中学生に占める 私立校生の割 合	順位	高校生に占める 私立校生の割 合	順位
相関係数	-0.5095**		0.4682**		-0.5746**		-0.5197**	
京都市	68.5%		11.4%		20.9%		52.3%	
北区	61.9%	13	13.0%	21	31.8%	4	23.0%	16
上京区	80.3%	2	1.4%	29	52.2%	2	77.1%	4
左京区	76.7%	4	9.4%	24	39.9%	3	68.4%	5
中京区	56.7%	18	15.9%	17	0.0%	13	39.5%	12
東山区	73.6%	7	9.3%	25	64.4%	1	77.7%	3
下京区	89.9%	1	3.7%	28	16.1%	7	100.0%	1
南区	57.7%	16	8.4%	27	26.0%	5	36.7%	14
右京区	76.6%	5	9.7%	22	8.9%	10	59.8%	6
伏見区	63.6%	12	13.1%	20	18.8%	6	39.5%	13
山科区	44.0%	24	33.3%	3	0.9%	12	1.9%	19
西京区	68.8%	9	17.4%	15	0.0%	13	47.7%	10
丹後								
宮津市	51.5%	21	25.1%	8	0.0%	13	17.9%	18
京丹後市	48.3%	23	26.2%	6	0.0%	13	0.0%	20
伊根町	-	-	-	-	0.0%	13	0.0%	20
与謝野町	39.5%	27	34.0%	2	0.0%	13	0.0%	20
中丹								
福知山市	52.0%	20	16.2%	16	5.2%	11	53.8%	7
舞鶴市	50.2%	22	23.4%	12	0.0%	13	19.1%	17
綾部市	42.0%	26	30.7%	4	0.0%	13	0.0%	20
南丹								
亀岡市	57.1%	17	24.4%	10	0.0%	13	0.0%	20
南丹市	52.5%	19	24.5%	9	0.0%	13	26.4%	15
京丹波町	33.6%	29	36.4%	1	0.0%	13	0.0%	20
乙訓								
向日市	59.5%	15	26.8%	5	0.0%	13	53.3%	8
長岡京市	69.2%	8	15.5%	18	0.0%	13	0.0%	20
大山崎町	-	-	-	-	0.0%	13	-	20
学研都市								
京田辺市	74.6%	6	9.2%	26	13.5%	8	51.2%	9
木津川市	64.7%	11	13.4%	19	0.0%	13	0.0%	20
精華町	38.6%	28	25.2%	7	0.0%	13	100.0%	1
相楽東部								
笠置町	-	-	-	-	-	-	-	-
和束町	-	-	-	-	0.0%	13	-	-
南山城村	-	-	-	-	0.0%	13	-	-
山城北								
宇治市	77.4%	3	9.6%	23	10.0%	9	47.6%	11
城陽市	61.7%	14	20.1%	14	0.0%	13	0.0%	20
八幡市	42.6%	25	23.6%	11	0.0%	13	0.0%	20
久御山町	67.6%	10	21.7%	13	0.0%	13	0.0%	20
井手町	-	-	-	-	0.0%	13	-	-
宇治田原町	-	-	-	-	0.0%	13	-	-

【2013年学校基本調査（文部科学省）より算出】

**相関係数は1%水準で有意（両側） *相関係数は5%水準で有意（両側）

図表中濃色のバー：1%・5%水準で有意（両側）

③ 就労環境

就労環境に関する社会指標をみると（次ページ・図表 IV-1-4-3-1～IV-1-4-3-3）、「合計特殊出生率」と「労働力率（男）」「正規比率（男）」「共働き割合」「第二次産業就業者割合」は弱い正の相関がある。一方、「パートタイム・アルバイト比率（男）」「第三次産業就業者割合」は弱い負の相関がある。

すなわち、男性の労働力率や正規雇用比率、共働き世帯の割合、製造業など第二次産業就業者の割合が高い市区町村は、合計特殊出生率がやや高い傾向がある。一方、男性雇用者に占めるパートタイム・アルバイトの割合や、サービス業など第三次産業就業者の割合が高い市区町村は、合計特殊出生率がやや低い傾向がある。

就労環境に関する社会指標のうち「労働力率（男）」「労働力率（女）」「完全失業率（男）」「完全失業率（女）」をみると（図表 IV-1-4-3-1）、福知山市は男性の労働力率が4位（73.2%）、京丹波町は13位（71.2%）でいずれも7割を超えている。女性の労働力率は、福知山市が8位（49.4%）、京丹波町が18位（46.2%）である。完全失業率は、福知山市で男性が32位（5.6%）、女性が27位（3.8%）、京丹波町は男性が17位（7.1%）、女性が31位（3.6%）である。

図表 IV-1-4-3-1 合計特殊出生率と就労環境に関する社会指標（1）

	労働力率(男)	順位	労働力率(女)	順位	完全失業率(男)	順位	完全失業率(女)	順位
相関係数	0.4222*		-0.0927		-0.2208		-0.2794	
京都市	京都市	68.2%		48.0%		7.4%		5.1%
	北区	65.7%	32	47.1%	14	6.5%	26	3.8%
	上京区	66.8%	30	50.8%	5	6.8%	21	4.3%
	左京区	63.5%	36	45.8%	21	6.5%	28	4.1%
	中京区	71.1%	14	53.1%	2	6.4%	29	4.4%
	東山区	65.4%	33	48.0%	12	7.5%	12	5.0%
	下京区	70.8%	16	53.6%	1	6.5%	27	4.6%
	南区	72.2%	9	49.0%	9	10.6%	3	7.5%
	右京区	69.7%	19	48.1%	11	7.1%	16	5.4%
	伏見区	67.5%	29	45.6%	22	8.1%	8	5.8%
	山科区	68.5%	24	47.6%	13	7.6%	11	5.6%
	西京区	70.3%	17	46.7%	15	6.8%	20	5.1%
丹後	宮津市	68.0%	28	46.0%	20	4.9%	35	2.7%
	京丹後市	72.8%	6	51.5%	3	6.8%	22	3.4%
	伊根町	68.1%	27	39.5%	36	4.8%	36	2.3%
	与謝野町	71.0%	15	51.2%	4	7.4%	13	3.7%
中丹	福知山市	73.2%	4	49.4%	8	5.6%	32	3.8%
	舞鶴市	71.3%	12	45.1%	23	5.5%	33	3.9%
	綾部市	68.9%	20	46.0%	19	6.9%	19	3.9%
南丹	亀岡市	72.7%	7	48.6%	10	6.6%	25	4.4%
	南丹市	66.2%	31	44.7%	26	6.7%	23	3.4%
	京丹波町	71.2%	13	46.2%	18	7.1%	17	3.6%
乙訓	向日市	72.8%	5	46.3%	17	8.2%	7	5.4%
	長岡京市	71.9%	11	44.7%	27	7.9%	9	5.7%
	大山崎町	68.8%	21	46.7%	16	7.8%	10	5.0%
宇陀市	京田辺市	63.6%	35	42.0%	33	5.9%	30	4.4%
	木津川市	72.4%	8	44.4%	29	7.2%	15	5.1%
	精華町	73.4%	3	44.7%	28	5.9%	31	4.9%
相楽東部	笠置町	63.8%	34	40.9%	35	13.5%	1	7.3%
	和束町	72.0%	10	44.9%	25	10.6%	4	7.3%
	南山城村	68.7%	22	44.4%	30	6.6%	24	3.1%
山城北	宇治市	68.4%	25	44.3%	31	7.0%	18	4.9%
	城陽市	68.3%	26	44.9%	24	7.2%	14	5.0%
	八幡市	70.2%	18	44.2%	32	9.6%	5	6.3%
	久御山町	74.5%	2	50.3%	6	8.3%	6	4.8%
	井手町	68.6%	23	41.4%	34	13.1%	2	6.2%
	宇治田原町	74.7%	1	50.3%	7	5.3%	34	3.8%

労働力率【2010年国勢調査（総務省統計局）より算出】

完全失業率【2010年国勢調査（総務省統計局）】

**相関係数は1%水準で有意（両側） *相関係数は5%水準で有意（両側）

図表中濃色のバー：1%・5%水準で有意（両側）

就労環境に関する社会指標のうち「正規比率（男）」「正規比率（女）」「パートタイム・アルバイト比率（男）」「パートタイム・アルバイト比率（女）」をみると（図表 IV-1-4-3-2）、福知山市は男性の正規比率が 5 位（83.4%）、京丹波町は 27 位（76.6%）である。女性の正規比率は、福知山市が 24 位（41.0%）、京丹波町が 33 位（38.3%）である。パートタイム・アルバイト比率は、福知山市で男性が 33 位（14.0%）、女性が 10 位（56.0%）、京丹波町は男性が 9 位（20.8%）、女性が 1 位（59.5%）である。

図表 IV-1-4-3-2 合計特殊出生率と就労環境に関する社会指標（2）

		正規比率(男)	順位	正規比率(女)	順位	パートタイム・アルバイト比率(男)	順位	パートタイム・アルバイト比率(女)	順位
相関係数		0.6813**		-0.1966		-0.6831**		0.3098	
京都市	京都市	76.7%		43.8%		20.8%		52.1%	
	北区	72.5%	33	43.2%	15	25.5%	4	53.2%	23
	上京区	71.4%	35	47.9%	5	26.3%	2	48.4%	34
	左京区	70.2%	36	44.1%	12	28.0%	1	52.5%	26
	中京区	77.8%	23	52.4%	2	19.7%	14	43.4%	35
	東山区	73.8%	31	44.2%	10	23.7%	6	51.9%	28
	下京区	80.2%	15	53.9%	1	17.6%	19	41.7%	36
	南区	79.7%	19	42.2%	18	17.1%	23	53.3%	21
	右京区	77.9%	22	41.8%	20	19.4%	15	53.9%	16
	伏見区	77.6%	25	39.9%	28	19.8%	12	55.8%	11
丹後	山科区	78.0%	21	41.1%	23	19.1%	16	54.4%	13
	西京区	80.4%	13	42.5%	16	17.2%	22	53.3%	22
	宮津市	81.9%	8	46.4%	6	16.2%	27	51.7%	29
	京丹後市	82.4%	7	47.9%	4	15.8%	30	49.3%	33
中丹	伊根町	84.1%	3	46.1%	8	15.1%	31	51.9%	27
	与謝野町	80.9%	11	48.3%	3	17.3%	21	50.4%	32
	福知山市	83.4%	5	41.0%	24	14.0%	33	56.0%	10
南丹	舞鶴市	84.8%	2	44.5%	9	12.9%	36	52.8%	24
	綾部市	79.9%	18	44.2%	11	16.8%	26	52.7%	25
	亀岡市	80.2%	14	39.2%	30	17.4%	20	57.3%	5
乙訓	南丹市	75.7%	29	43.9%	14	21.9%	8	53.7%	20
	京丹波町	76.6%	27	38.3%	33	20.8%	9	59.5%	1
	向日市	81.6%	9	41.0%	25	16.0%	29	54.1%	15
学研都市	長岡京市	83.2%	6	44.0%	13	13.9%	34	50.4%	31
	大山崎町	81.3%	10	40.7%	26	16.1%	28	53.9%	17
	京田辺市	77.6%	26	37.6%	35	20.4%	10	58.1%	4
相楽東部	木津川市	84.1%	4	41.2%	22	14.2%	32	54.7%	12
	精華町	85.3%	1	39.5%	29	12.9%	35	56.2%	8
	笠置町	72.5%	32	42.1%	19	26.0%	3	53.8%	18
山城北	和束町	72.1%	34	46.3%	7	25.5%	5	51.2%	30
	南山城村	73.9%	30	42.3%	17	23.5%	7	53.8%	19
	宇治市	80.8%	12	41.8%	21	17.0%	24	54.2%	14
	城陽市	77.7%	24	39.2%	31	19.7%	13	57.1%	7
	八幡市	78.6%	20	37.9%	34	18.6%	17	57.2%	6
	久御山町	76.3%	28	36.8%	36	19.9%	11	58.4%	2
	井手町	80.1%	16	38.4%	32	17.7%	18	58.2%	3
	宇治田原町	79.9%	17	40.6%	27	16.9%	25	56.1%	9

【2010 年国勢調査（総務省統計局）より算出】

**相関係数は 1%水準で有意（両側） *相関係数は 5%水準で有意（両側）

図表中濃色のバー：1%・5%水準で有意（両側）

就労環境に関する社会指標のうち「共働き割合」「第一次産業就業者比率」「第二次産業就業者比率」「第三次産業就業者比率」をみると（図表 IV-1-4-3-3）、福知山市は共働き割合が 3 位（51.6%）、京丹波町は 4 位（50.9%）といずれも高い。いずれの市区町村も、第三次産業就業者が最も多いが、福知山市は第一次産業就業者割合が 11 位、第二次産業就業者割合が 8 位、京丹波町は第一次産業就業者が 4 位、第二次産業就業者割合が 7 位と比較的高い。

図表 IV-1-4-3-3 合計特殊出生率と就労環境に関する社会指標（3）

		共働き割合	順位	第一次産業就業者比率	順位	第二次産業就業者比率	順位	第三次産業就業者比率	順位
	相関係数	0.3373*		0.2194		0.5684**		-0.4723**	
京都市	京都市	42.5%		0.8%		19.3%		69.2%	
	北区	44.8%	16	1.3%	22	17.5%	30	71.5%	7
	上京区	46.1%	12	0.2%	33	17.4%	31	72.8%	4
	左京区	41.8%	23	0.6%	31	12.7%	36	77.5%	1
	中京区	46.4%	9	0.1%	36	16.9%	32	73.7%	2
	東山区	43.8%	17	0.2%	34	14.6%	35	73.3%	3
	下京区	46.1%	11	0.1%	35	15.9%	33	68.8%	13
	南区	42.0%	22	0.9%	28	24.3%	15	62.6%	24
	右京区	42.7%	20	1.1%	23	21.9%	21	66.7%	17
	伏見区	40.2%	25	0.9%	27	21.9%	22	65.0%	22
	山科区	42.0%	21	0.7%	30	21.3%	24	67.8%	15
	西京区	40.4%	24	1.0%	25	20.8%	25	69.3%	12
丹後	宮津市	47.9%	8	7.5%	10	19.6%	28	65.7%	20
	京丹後市	58.4%	1	9.1%	6	31.0%	4	56.3%	30
	伊根町	50.3%	6	27.9%	1	15.5%	34	56.3%	31
	与謝野町	55.8%	2	3.7%	14	34.1%	1	56.3%	32
中丹	福知山市	51.6%	3	6.3%	11	27.5%	8	60.7%	26
	舞鶴市	43.4%	18	3.8%	13	21.4%	23	66.3%	18
	綾部市	46.1%	10	8.7%	7	31.1%	3	57.0%	29
南丹	亀岡市	45.6%	14	3.8%	12	25.6%	11	63.2%	23
	南丹市	49.7%	7	10.8%	5	24.7%	14	59.7%	27
	京丹波町	50.9%	4	15.4%	4	27.8%	7	54.4%	35
乙訓	向日市	39.2%	29	1.1%	24	25.1%	12	69.3%	11
	長岡京市	37.4%	33	1.0%	26	26.6%	9	70.4%	9
	大山崎町	39.3%	28	0.8%	29	25.0%	13	71.3%	8
学研都市	京田辺市	37.7%	32	2.1%	19	22.6%	18	68.7%	14
	木津川市	39.6%	27	3.7%	15	19.0%	29	70.3%	10
	精華町	40.0%	26	2.4%	18	20.7%	26	72.8%	5
相楽東部	笠置町	34.4%	36	3.2%	16	23.8%	17	72.7%	6
	和束町	46.1%	13	23.7%	2	22.4%	20	50.6%	36
	南山城村	43.0%	19	16.7%	3	19.7%	27	61.8%	25
山城北	宇治市	38.3%	30	0.6%	32	24.0%	16	65.6%	21
	城陽市	38.1%	31	1.6%	21	26.2%	10	65.7%	19
	八幡市	35.4%	35	1.8%	20	22.6%	19	67.1%	16
	久御山町	45.0%	15	8.4%	9	30.7%	5	55.5%	33
	井手町	36.7%	34	2.9%	17	30.1%	6	54.9%	34
	宇治田原町	50.8%	5	8.4%	8	32.2%	2	57.2%	28

共働き割合（「夫婦のいる一般世帯」のうち「夫、妻ともに就業者の世帯」）

【2010 年国勢調査（総務省統計局）より算出】

産業別就業者比率【2010 年国勢調査（総務省統計局）】

**相関係数は 1%水準で有意（両側） *相関係数は 5%水準で有意（両側）

図表中濃色のバー：1%・5%水準で有意（両側）

④ 保育環境

保育環境に関する社会指標をみると（図表 IV-1-4-4-1）、これだけでは「合計特殊出生率」と有意な相関はみられない。

福知山市は、0～2 歳の保育所利用率が 2 位（39.2%）と高く、3～5 歳保育所利用率も 8 位（70.7%）と比較的高い。京丹波町も、0～2 歳の保育所利用率が 8 位（33.2%）、3～5 歳保育所利用率が 12 位（60.9%）と比較的高い。

0～5 歳児 1 万人当たりの地域子育て支援拠点の数を見ると、福知山市は 16 位（10.9 箇所）、京丹波町が 3 位（59.1 箇所）である。

6～8 歳児 1 万人当たりの児童館数を見ると、福知山市は 8 位（44.3 箇所）、京丹波町は 2012 年の段階で児童館数は 0 と報告されている。

なお、「保育所年齢階層別入所児童数」と「地域子育て支援拠点数」についての、京都市区別データは公表されていない。

図表 IV-1-4-4-1 合計特殊出生率と保育環境に関する社会指標

	0～2 歳保育所 利用率	順位	3～5 歳保育所 利用率	順位	0～5 歳児 1 万人 当たりの地域 子育て支援拠 点数	順位	6～8 歳児 1 万人 当たりの 児童館数	順位
相関係数	0.0719		-0.0841		0.0658		-0.2370	
京都市	34.8%	6	50.5%	15	26.4	7	38.8	
北区							38.9	11
上京区							19.3	20
左京区							45.9	7
中京区							31.8	14
東山区							85.7	3
下京区							27.0	17
南区							58.6	4
右京区							31.6	15
伏見区							39.2	10
山科区							36.2	12
西京区							40.4	9
丹後	33.8%	7	58.7%	13	25.6	8	23.2	19
京丹後市	28.6%	20	88.2%	5	27.4	6	0.0	28
伊根町	32.1%	11	91.2%	3	173.0	1	0.0	28
与謝野町	29.1%	19	76.9%	7	29.4	5	16.4	22
中丹	39.2%	2	70.7%	8	10.9	16	44.3	8
舞鶴市	25.2%	24	41.9%	24	10.7	17	4.2	27
綾部市	40.1%	1	70.5%	9	13.4	12	34.8	13
南丹	30.1%	17	63.2%	11	10.5	18	23.8	18
南丹市	27.2%	21	63.9%	10	6.9	22	53.5	6
京丹波町	33.2%	8	60.9%	12	59.1	3	0.0	28
乙訓	31.9%	12	43.7%	23	13.4	11	0.0	28
向日市	24.8%	25	37.1%	25	9.0	19	4.4	26
長岡京市	35.9%	4	50.0%	18	12.1	14	0.0	28
宇治	22.0%	26	32.8%	26	7.5	21	18.6	21
京田辺市	27.1%	22	56.5%	14	12.2	13	7.7	23
木津川市	25.4%	23	48.7%	20	13.7	10	7.7	24
精華町	30.3%	16	90.9%	4	0.0	25	641.0	1
相楽	35.2%	5	92.1%	2	75.4	2	112.6	2
笠置町	30.3%	15	98.3%	1	0.0	25	0.0	28
山城	33.0%	9	46.3%	21	7.8	20	5.5	25
宇治市	30.8%	14	50.0%	17	2.7	24	0.0	28
城陽市	32.6%	10	46.3%	22	5.2	23	30.3	16
八幡市	29.9%	18	50.4%	16	11.7	15	0.0	28
久御山町	36.3%	3	85.6%	6	30.3	4	53.6	5
井手町	31.3%	13	49.0%	19	22.5	9	0.0	28
宇治田原町								

保育所利用率【2014 年京都府少子化対策課調べ・

住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（総務省統計局）から推計算出】

0～5 歳児 1 万人当たりの地域子育て支援拠点数【2014 年京都府内市町村における子育て支援事業実施状況、

京都市保健福祉局調べ、住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（総務省統計局）から推計推計】

6～8 歳児 1 万人当たりの児童館数【2012 年社会福祉施設等調査（厚生労働省）・住民基本台帳に基づく人口、人口動態

及び世帯数調査（総務省統計局）から推計算出】

**相関係数は 1%水準で有意（両側） *相関係数は 5%水準で有意（両側）

図表中濃色のバー：1%・5%水準で有意（両側）

⑤ 地域

地域に関する社会指標をみると（図表 IV-1-4-5-1）、「合計特殊出生率」と「人口 100 万人当たりの図書館数」「人口 100 万人当たりの公民館数」は弱い正の相関がある。

すなわち、人口当たりの図書館の数や公民館の数が多い市区町村は、合計特殊出生率がやや高い傾向がある。

福知山市は図書館数が 8 位、公民館数が 10 位である。京丹波町は図書館がなく（図書室のみ）、公民館数は 7 位である。

人口 1 万人当たりの都市公園数をみると、福知山市は 9 位、京丹波町は 21 位である。1 人当たりの都市公園面積は、福知山市が 3 位、京丹波町が 2 位である。

なお、「都市公園数」と「都市公園面積」についての、京都市区別データは公表されていない。

図表 IV-1-4-5-1 合計特殊出生率と地域に関する社会指標（1）

	人口100万人 当たりの 図書館数	順位	人口100万人 当たりの 公民館数	順位	人口1万人当 たりの都市公園数	順位	1人当たり都市 公園面積	順位
相関係数	0.4920**		0.3723*		-0.0276		0.3603	
京都市	13.6		0.0		6.5	16	4.3	18
北区	8.2	27	0.0	23				
上京区	0.0	30	0.0	23				
左京区	17.8	20	0.0	23				
中京区	19.0	18	0.0	23				
東山区	24.7	17	0.0	23				
下京区	12.6	24	0.0	23				
南区	30.4	13	0.0	23				
右京区	4.9	29	0.0	23				
伏見区	17.6	21	0.0	23				
山科区	7.4	28	0.0	23				
西京区	13.1	23	0.0	23				
丹後	50.1	10	551.4	6	7.9	12	102.7	1
京丹後市	101.6	5	1101.0	2	0.5	22	10.5	9
伊根町	0.0	30	2074.7	1	0.0	23	0.0	23
与謝野町	127.9	1	980.6	3	4.2	19	23.9	4
中丹	62.8	8	276.2	10	11.4	9	26.4	3
福知山市	56.4	9	78.9	13	4.3	18	14.7	8
舞鶴市	27.9	15	362.8	8	12.2	8	19.2	5
南丹	64.9	6	32.5	20	3.8	20	7.4	13
南丹市	113.6	3	56.8	16	7.1	15	16.2	6
京丹波町	0.0	30	381.4	7	1.9	21	70.8	2
乙訓	18.4	19	110.4	11	7.6	14	1.1	22
向日市	12.5	25	12.5	22	30.7	1	2.3	21
長岡京市	0.0	30	66.1	14	14.3	6	9.5	10
宇治市	44.2	11	603.7	5	23.4	3	6.0	16
宇治市	43.0	12	43.0	18	17.5	5	8.7	11
宇治市	28.1	14	0.0	23	0.0	23	0.0	23
相楽東部	0.0	30	615.0	4	0.0	23	0.0	23
笠置町	0.0	30	0.0	23	7.9	13	15.2	7
和束町	0.0	30	324.9	9	0.0	23	0.0	23
南山城村	15.8	22	26.4	21	9.6	10	7.6	12
山城北	12.5	26	37.5	19	27.5	2	4.5	17
宇治市	26.9	16	53.9	17	12.7	7	7.4	13
城陽市	62.8	7	62.8	15	8.0	11	3.8	19
八幡市	118.4	2	0.0	23	18.7	4	3.6	20
久御山町	103.0	4	103.0	12	6.1	17	6.1	15
井手町								
宇治田原町								

人口 100 万人当たりの図書館数・公民館数【2011 年社会教育調査（文部科学省）・2010 年国勢調査（総務省統計局）より算出】

人口 1 万人当たりの都市公園数【2012 年京都府統計書（京都府都市計画課）・住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（総務省統計局）より算出】

1 人当たり都市公園面積【2012 年京都府統計書（京都府都市計画課）】

**相関係数は 1%水準で有意（両側） *相関係数は 5%水準で有意（両側）

図表中濃色のバー：1%・5%水準で有意（両側）

1人当たりの教育費（市区町村財政）をみると（図表 IV-1-4-5-2）、福知山市は 24 位、京丹波町は 12 位である。納税義務者 1 人当たりの課税対象所得は、福知山市が 15 位、京丹波町が 22 位である。消防団組織率は、福知山市が 11 位、京丹波町が 3 位である。

なお、「1人当たりの教育費（市区町村財政）」「課税対象所得」「消防団組織率」についての、京都市の区別データは公表されていない。

図表 IV-1-4-5-2 合計特殊出生率と地域に関する社会指標（2）

		1人当たりの教育費(市区町村財政)	順位	課税対象所得(納税義務者1人当たり)(千円)	順位	消防団組織率	順位
	相関係数	0.2584		-0.2555		-0.1391	
京都市	京都市	38,766	15	3,315.3	5	0.3%	23
	北区						
	上京区						
	左京区						
	中京区						
	東山区						
	下京区						
	南区						
	右京区						
	伏見区						
	山科区						
西京区							
丹後	宮津市	38,023	17	2,607.6	18	2.3%	12
	京丹後市	51,998	4	2,422.7	23	2.8%	9
	伊根町	83,215	1	2,304.2	25	6.1%	1
	与謝野町	46,935	7	2,411.1	24	1.5%	13
中丹	福知山市	32,377	24	2,724.1	15	2.4%	11
	舞鶴市	44,879	10	2,827.4	13	1.4%	14
	綾部市	33,773	21	2,512.3	21	2.5%	10
南丹	亀岡市	36,643	18	2,903.0	11	1.0%	17
	南丹市	49,398	5	2,700.2	16	4.5%	6
	京丹波町	41,051	12	2,455.5	22	5.3%	3
乙訓	向日市	41,451	11	3,201.0	5	0.3%	24
	長岡京市	40,133	13	3,471.2	3	0.2%	26
	大山崎町	56,803	3	3,045.9	9	0.7%	19
学研都市	京田辺市	36,028	19	3,517.4	2	0.5%	20
	木津川市	38,350	16	3,461.0	4	1.1%	16
	精華町	34,968	20	3,837.9	1	0.8%	18
相楽東部	笠置町	0	26	2,547.4	20	5.8%	2
	和束町	32,488	23	2,587.5	19	4.5%	5
	南山城村	46,101	9	2,622.6	17	5.0%	4
山城北	宇治市	46,107	8	3,153.2	6	0.2%	25
	城陽市	30,427	25	2,875.2	12	0.3%	22
	八幡市	33,570	22	3,072.2	7	0.4%	21
	久御山町	65,079	2	2,781.8	14	1.2%	15
	井手町	39,295	14	2,964.0	10	3.1%	7
	宇治田原町	47,886	6	3,070.2	8	3.0%	8

1人当たりの教育費（市区町村財政）【2011年地方財政状況調査（総務省自治財政局）】

課税対象所得（納税義務者1人当たり）（千円）【2012年総務省自治税務局市町村税課】

消防団組織率【2013年京都府統計書（京都府都市計画課）・

住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（総務省統計局）より算出】

**相関係数は1%水準で有意（両側） *相関係数は5%水準で有意（両側）

図表中濃色のバー：1%・5%水準で有意（両側）

⑥ 結婚・出産

結婚・出産に関する社会指標をみると（次ページ・図表 IV1-4-6-1～IV1-4-6-3）、「合計特殊出生率」と女性の「30代未婚率」は強い負の相関がある。すなわち、女性の30代未婚率が高い市区町村ほど、合計特殊出生率が低い傾向にある。

また、男性の「30代未婚率」「人口10万人当たりの小児科医数」も弱い負の相関がある。男性の30代未婚率が高い市区町村では、合計特殊出生率がやや低い傾向にある。また、人口10万人当たりの小児科医数が多い市区町村でも、合計特殊出生率がやや低い傾向にあるが、これは、地理的な要因等のために合計特殊出生率が低い京都市上京区、左京区、中京区、東山区に小児科医が多く設置されているためで、合計特殊出生率との因果関係はないと考えられる。

また、「合計特殊出生率」と「母子家庭割合」には弱い正の相関があり、母子家庭の割合が高い市区町村では、合計特殊出生率がやや高い傾向がある。

結婚・出産に関する社会指標のうち「未婚率」と「平均初婚年齢」をみると(図表 IV-1-4-6-1)、男性の30代未婚率は、福知山市は33位(35.1%)と低い、京丹波町は9位(46.2%)と比較的高い。女性の30代未婚率は、福知山市で35位(20.0%)、京丹波町で25位(26.0%)と比較的低い。

平均初婚年齢は、福知山市は男性は31.0歳(9位) 女性は28.9歳(13位)、京丹波町は男性は33.1歳(2位) 女性は28.2歳(24位)と、平均初婚年齢が特に若いというわけではない。

なお、「平均初婚年齢」の、京都市の区別データは公表されていない。

図表 IV-1-4-6-1 合計特殊出生率と結婚・出産に関する社会指標(1)

		30代未婚率 (男)	順位	30代未婚率 (女)	順位	平均初婚年齢 (男)	順位	平均初婚年齢 (女)	順位
	相関係数	-0.5022**		-0.8267**		0.1898		0.1569	
京都市	京都市	43.3%		35.3%		31.3	6	29.8	3
	北区	41.9%	19	34.2%	8				
	上京区	47.4%	8	43.1%	4				
	左京区	44.5%	11	36.1%	7				
	中京区	44.1%	13	42.9%	5				
	東山区	58.2%	2	52.9%	2				
	下京区	44.5%	10	44.1%	3				
	南区	49.1%	5	33.5%	9				
	右京区	42.7%	17	33.0%	11				
	伏見区	41.3%	21	31.0%	16				
丹後	山科区	42.7%	16	33.1%	10				
	西京区	38.0%	28	30.2%	17				
	宮津市	42.3%	18	24.1%	27	30.5	16	28.6	18
	京丹後市	39.9%	23	21.2%	34	30.1	20	28.4	22
中丹	伊根町	48.2%	7	32.5%	13	35.2	1	28.4	22
	与謝野町	39.6%	25	22.3%	32	30.9	13	29.6	6
	福知山市	35.1%	33	20.0%	35	31.0	9	28.9	13
南丹	舞鶴市	41.7%	20	19.7%	36	29.9	22	28.6	18
	綾部市	39.7%	24	22.7%	30	30.1	20	28.7	16
	亀岡市	37.7%	30	26.1%	24	30.5	16	29.1	10
乙訓	南丹市	43.2%	14	29.5%	18	29.5	23	28.5	21
	京丹波町	46.2%	9	26.0%	25	33.1	2	28.2	24
	向日市	36.6%	31	27.7%	22	31.5	4	30.3	1
学研都市	長岡京市	38.1%	27	26.7%	23	31.1	7	29.6	6
	大山崎町	35.1%	32	25.8%	26	31.0	9	30.1	2
	京田辺市	31.9%	34	24.0%	28	31.0	9	29.1	10
相楽東部	木津川市	28.8%	36	21.5%	33	31.0	9	29.1	10
	精華町	30.2%	35	23.0%	29	31.5	4	28.8	15
	笠置町	56.8%	3	55.9%	1	28.0	26	24.5	26
山城北	和束町	59.5%	1	41.1%	6	29.1	24	27.7	25
	南山城村	53.8%	4	32.8%	12	29.1	24	28.9	13
	宇治市	38.8%	26	27.9%	21	31.1	7	29.8	3
	城陽市	44.1%	12	32.5%	14	30.7	14	29.2	9
	八幡市	41.0%	22	28.3%	20	30.3	19	28.6	18
	久御山町	42.9%	15	29.1%	19	30.4	18	28.7	16
	井手町	49.1%	6	31.1%	15	30.7	14	29.8	3
	宇治田原町	38.0%	29	22.6%	31	31.7	3	29.3	8

30代未婚率【2010年国勢調査(総務省統計局)より算出】

平均初婚年齢【2012年京都府保健福祉統計】

**相関係数は1%水準で有意(両側) *相関係数は5%水準で有意(両側)

図表中濃色のバー:1%・5%水準で有意(両側)

結婚・出産に関する社会指標のうち「婚姻率」「離婚率」「人口10万人当たりの産婦人科医数」「人口10万人当たりの小児科医数」をみると（図表 IV-1-4-6-2）、婚姻率は、福知山市が2位（5.8%）、京丹波町は25位（3.6%）である。離婚率は福知山市が3位（2.0%）、京丹波町が18位（1.4%）である。

福知山市では、人口10万人当たりの産婦人科医数は7.4人（13位）、人口10万人当たりの小児科医数は7.4人（22位）である。京丹波町には産婦人科・小児科を主な診療項目とする医師の人数は報告されていない。

なお、「婚姻率」と「離婚率」の、京都市の区別データは公表されていない。

図表 IV-1-4-6-2 合計特殊出生率と結婚・出産に関する社会指標（2）

	婚姻率	順位	離婚率	順位	人口10万人 当たりの 産婦人科医数	順位	人口10万人 当たりの 小児科医数	順位
相関係数	0.0347		0.1864		-0.2961		-0.3855*	
京都市	京都市	5.5%	3	1.8%	10	12.6	21.3	
	北区				1.8	27	14.5	11
	上京区				46.8	1	85.7	1
	左京区				17.3	5	45.1	3
	中京区				26.1	2	28.1	4
	東山区				21.6	3	51.4	2
	下京区				12.2	7	5.4	28
	南区				7.6	12	9.7	19
	右京区				3.2	24	7.9	21
	伏見区				11.4	8	12.1	14
	山科区				6.9	14	13.0	12
	西京区				10.0	9	14.7	10
丹後	宮津市	3.0%	26	1.3%	19	4.9	4.9	29
	京丹後市	3.8%	20	1.2%	24	6.7	6.7	25
	伊根町	6.5%	1	1.3%	19	0.0	0.0	30
	与謝野町	3.7%	22	1.7%	12	20.9	20.9	6
中丹	福知山市	5.8%	2	2.0%	3	7.4	7.4	22
	舞鶴市	5.3%	5	1.7%	12	5.7	18.2	8
	綾部市	3.7%	22	1.9%	4	16.6	11.1	16
南丹	亀岡市	4.2%	16	1.8%	10	4.3	10.8	18
	南丹市	3.7%	22	1.9%	4	8.9	23.6	5
	京丹波町	3.6%	25	1.4%	18	0.0	0.0	30
乙訓	向日市	4.5%	8	1.5%	15	3.7	7.4	23
	長岡京市	5.4%	4	1.5%	15	6.3	12.6	13
	大山崎町	4.5%	8	1.3%	19	0.0	6.5	26
宇陀市	京田辺市	3.9%	19	1.2%	24	4.7	18.7	7
	木津川市	4.4%	11	1.9%	4	8.4	16.9	9
	精華町	4.3%	14	1.3%	19	2.7	10.9	17
相楽東部	笠置町	5.2%	6	0.7%	26	0.0	0.0	30
	和束町	4.4%	11	2.3%	1	0.0	0.0	30
	南山城村	4.3%	14	1.3%	19	0.0	0.0	30
山城北	宇治市	4.5%	8	1.9%	4	4.7	11.6	15
	城陽市	4.1%	18	1.5%	15	2.5	8.8	20
	八幡市	4.4%	11	1.9%	4	4.1	6.8	24
	久御山町	5.1%	7	2.2%	2	0.0	6.2	27
	井手町	4.2%	16	1.9%	4	0.0	0.0	30
	宇治田原町	3.8%	20	1.7%	12	0.0	0.0	30

婚姻率・離婚率【2012年京都府保健福祉統計】

人口10万人当たりの産婦人科医数・小児科医数【2012年医師・歯科医師・薬剤師調査（厚生労働省）・

住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（総務省統計局）より算出】

**相関係数は1%水準で有意（両側） *相関係数は5%水準で有意（両側）

図表中濃色のバー：1%・5%水準で有意（両側）

結婚・出産に関する社会指標のうち「自然死産率」「人工死産率」「母子家庭割合」をみると（図表 IV-1-4-6-3）、自然死産率は、福知山市が 3 位（出産千対 18.8）、京丹波町は 1 位（39.0‰）である。人工死産率をみると、福知山市は 14 位（出産千対 11.4）、京丹波町は 8 位（13.3‰）である。

母子家庭割合は、福知山市が 16 位（1.5％）、京丹波町が 30 位（0.8％）である。

なお、「自然死産率」と「人工死産率」の、京都市の区別データは公表されていない。

図表 IV-1-4-6-3 合計特殊出生率と結婚・出産に関する社会指標（3）

		自然死産率 (出産千対)	順位	人工死産率 (出産千対)	順位	母子家庭割合	順位
	相関係数	0.2323		-0.2268		0.3695*	
京都市	京都市	10.0	10	12.8	10	1.4%	
	北区					0.9%	27
	上京区					0.8%	31
	左京区					0.8%	32
	中京区					0.9%	28
	東山区					1.0%	26
	下京区					0.8%	33
	南区					2.2%	3
	右京区					1.7%	11
	伏見区					2.0%	4
	山科区					2.0%	5
	西京区					1.7%	10
丹後	宮津市	8.5	12	8.5	17	1.2%	23
	京丹後市	13.8	7	29.9	2	1.4%	19
	伊根町	0.0	20	0.0	21	0.5%	36
	与謝野町	6.4	18	6.4	18	1.8%	7
中丹	福知山市	18.8	3	11.4	14	1.5%	16
	舞鶴市	7.9	15	20.7	3	1.8%	8
	綾部市	8.5	12	16.8	5	1.3%	20
南丹	亀岡市	7.3	16	4.4	20	1.5%	15
	南丹市	8.5	12	12.7	11	0.9%	29
	京丹波町	39.0	1	13.3	8	0.8%	30
乙訓	向日市	16.5	4	14.2	6	1.6%	14
	長岡京市	10.3	9	11.8	13	1.3%	22
	大山崎町	16.1	5	0.0	21	1.5%	17
学研都市	京田辺市	3.5	19	5.3	19	1.1%	24
	木津川市	6.9	17	11.0	15	1.6%	12
	精華町	0.0	20	17.4	4	1.3%	21
相楽東部	笠置町	0.0	20	0.0	21	1.6%	13
	和束町	0.0	20	0.0	21	0.6%	35
	南山城村	0.0	20	142.9	1	0.6%	34
山城北	宇治市	11.9	8	13.2	9	1.4%	18
	城陽市	13.9	6	8.7	16	1.7%	9
	八幡市	9.1	11	12.7	11	2.3%	2
	久御山町	0.0	20	14.2	6	2.7%	1
	井手町	20.0	2	0.0	21	1.8%	6
	宇治田原町	0.0	20	0.0	21	1.1%	25

自然死産率・人口死産率【2012 年京都府保健福祉統計】

母子家庭割合【2010 年国勢調査（総務省統計局）より算出】

**相関係数は 1%水準で有意（両側） *相関係数は 5%水準で有意（両側）

図表中濃色のバー：1%・5%水準で有意（両側）

(5) まとめ

① 合計特殊出生率と社会指標の相関関係

■ 合計特殊出生率が高いことと強い相関がある指標

- ・ 女性の30代未婚率が低い。

■ 合計特殊出生率が高いことと弱い相関がある指標

- ・ 男性の30代未婚率が低い。
- ・ 他市区町村への通勤者比率が低い。
- ・ 20代後半、30代前半での転入が多い
- ・ 男性の労働力が高く、男性の正規比率が高い。
- ・ 共働き割合が高い。
- ・ 第二次産業就業者割合が高い。
- ・ 図書館・公民館へのアクセスが良い。

② 京都府内で最も合計特殊出生率が高い市及び南丹以南の農村部で最も合計特殊出生率が高い町の特徴

◇福知山市（合計特殊出生率1位）

- ✧ 合計特殊出生率・有配偶率ともに全国平均以上で府内1位。社会移動率もプラスで、転入超過。
- ✧ 20代前半から30代前半までの出生率が府内1位、20代後半で出産ピーク。
- ✧ 結婚・出産・子育て年代の転入が多い（20代後半・1位、30代前半・6位）。
- ✧ 他市区町村への通勤(34位)は比較的低く、市内で就労。
- ✧ 男女とも労働力率が高い（男性4位、女性8位）。
- ✧ 男性の正規比率が比較的高い（5位）。
- ✧ 共働き世帯の割合が高く（3位）、0～2歳児の保育利用率が高い（2位）。

◇京丹波町（合計特殊出生率10位）

- ✧ 合計特殊出生率が府内10位であるのに対し、有配偶率は府内14位で、全国平均を若干超えている程度。社会移動率はマイナスで、転出超過。
- ✧ 20代前半（9位）・後半（9位）での出生率が比較的高く、20代後半で出産ピーク。
- ✧ 他市区町村への通勤（30位）は比較的低く、町内で就労。
- ✧ 男性の労働力率が比較的高い（13位）。
- ✧ 共働き世帯の割合が高く（4位）、0～2歳児保育所利用率が比較的高い（8位）。